

NPO 法人ピースウィンズ・ジャパンとドローンを活用した 空からの医療課題の解決に向けたアライアンスを開始

— 空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”プロジェクトに参画 —

株式会社 A.L.I. Technologies
(株式会社エーエルアイテクノロジーズ)

株式会社 A.L.I. Technologies（本社：東京都港区、代表取締役社長：片野大輔、以下「A.L.I.」）は、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン（住所：広島県神石高原町、代表理事：大西 健丞、以下「PWJ」）と、災害支援・医療支援プロジェクト「ARROWS」※¹との連携も含むアライアンスを結び、大規模災害時における UAV を活用した医療・レスキュー支援や物資などの輸送サービスなどの検討を開始することとなりました。





写真：ARROWS 活動の様子

A.L.I.は、現在までに様々なシチュエーションにおける PoC（コンセプト実証）により社会的意義と実際に求められる機材・システムの相互関係の最適化を行っており、特に、大規模災害時や医療過疎地での医療課題解決などにおける UAV の活用領域は極めて高いものと考えております。

そこで、PWJ とのアライアンス、及び災害支援・医療支援プロジェクト「ARROWS」との連携により、大規模災害時の医療、物資配布課題や医療過疎地における課題解決の一助を担うべく、当社の UAS（ドローンシステム）を活用したソリューションの運用に向けてプロジェクトに着手することといたしました。

本プロジェクトにおいては、A.L.I.が開発した UAV 運行管理システム C.O.S.M.O.S^{※2}（コスモス）の活用を主な内容としており、ドローンによるソリューションを、より安全に確実に運行することが可能となります。今年度においては、三次元地図と飛行経路の実装や運用方法の検討、試験を順次進めて参る予定です。また、PWJ は海外でも幅広い活躍を見せており、日本だけでなく海外へのサービスも視野に入れて取り組んで参ります。

- UAV の位置情報・飛行軌跡の可視化
- 経路の自動生成・登録・管制機能
- UAV の飛行時間・安全管理責任者の情報
- 三次元地図・天気/災害情報のリアルタイム可視化(最終調整中)

今後の社会実装に向けて、UAV による輸送機能の検証に加え、医療領域との連携も目指し、私たちが培った UAV 技術と知見を結集させ、様々な社会課題を可能な限りなくせるよう、ARROWS プロジェクトと協力して、この取り組みに尽力してまいります。

※1 ARROWS プロジェクト概要

名称：

空飛ぶ捜索医療団 “ARROWS”

運営団体：

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンス・ジャパン (A-PAD ジャパン)

公益社団法人 Civic Force

<https://arrows.red/>

※2 C.O.S.M.O.S

UAV の群制御、航空管制を可能にするトラフィック管理プラットフォーム。UAV の自動運用の原則となる、機体の健全性、運用の確実性、周辺と運用者の安全性をより確実に計画・監視・管理することを可能にする技術。

参考リリース：<https://ali.jp/2019/10/23/2194/>

<A.L.I.の概要>

A.L.I.は、AI 搭載型ドローンをはじめ、各種ソリューションビジネスを展開するドローン・AI 事業、世界中のコンピューティングパワーをシェアリングする演算力シェアリング事業、サステナブルな社会を創造する電力ソリューション事業、世界初の実用型ホバーバイクの販売を目指すエアーモビリティ事業を展開しております。

A.L.I.は、今後も、既存の発想に捉われず、ドローン、AI、ブロックチェーンなどのテクノロジーを活用したプロダクトを開発し、イノベーションを起こし続けてまいります。

公式サイト：<https://ali.jp/>

お問い合わせ先：info@ali.jp (広報ユニット)